

令和7年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅰ 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 八街市 】							
令和7年度に実施した取組の内容及び成果と課題							
1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等) ・八街市国際交流協会 ・千葉モードビジネス専門学校 ・日本語指導担当教員 ・日本語指導員(会計年度任用職員) ・八街市教育委員会指導主事							
2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること (1)情報交換や研修を目的とした、年3回の運営・連絡協議会の実施。 (2)日本語指導員を配置し、全小中学校で日本語指導を行える体制の構築。 (3)特別の教育課程を編成。それに基づいた日本語指導の実施。 (4)教育センターHPに、実践の概要と成果を公表。 (10)会計年度任用職員として、教員免許をもつ日本語指導員を雇用して配置。							
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること (1)情報交換は授業力の向上につながった。研修内容は指導員の実態に合う内容を検討する必要がある。 (2)全小中学校で日本語指導が実施できるようになった。教科の学習の支援はまだ充実していない。 (3)個人の日本語能力に合う指導ができていた。様々な実態に合わせて指導できるよう (4)日本語指導が必要な子どもがいる家庭に情報が届くよう発信の方法を考えていかなければならない。 (10)指導員の指導により日本語能力の向上につながった。学校規模等の状況に応じた配置の仕方を検討する。							
本事業で対応した幼児・児童生徒数	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	人 (園)	80 人 (8校)	33 人 (4校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数	/	80 人 (8校)	33 人 (4校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
4. その他(今後の取組予定等) ・児童生徒の日常会話や文字の読み書き等の日本語能力の向上に加え、教科の学習内容の理解を目指して、一人一人の日本語指導の時間数を増やせるように、加配教員や日本語指導員の増員を要望していきたい。							

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。